

- 絵1 東北独特の古代竪型炉たたら跡 山田町船越「焼山遺跡」
- 絵2 世界産業遺産登録を目指す近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」橋野・大橋
- 絵3 「鉦」と書いて「たたら」と読む 大山山麓に見つけた「飯戸・たたらど」集落

□絵1. 東北独特の古代竪型炉たたら跡 山田町船越「焼山遺跡」



復興事業推進で発掘調査が進む 古代の製鉄遺跡跡 山田町船越 焼山遺跡 2014.6.7.

● やけやま 焼山遺跡 (山田町) の製鉄炉

焼山遺跡は、JR船越駅と山田道路との間に挟まれた、南東に開けた谷の北側斜面地に位置しています。

写真は、古代の製鉄炉です。炉の直径は約60cm、円形に掘り込まれています。底には鉄滓が付着しています。左側には鞆から空気を送り込むための羽口が見えます。羽口の太さは約8cmあり、先端が炉内に出るように設置されています。当時の製鉄炉(3頁:想像図)は中から鉄を取り出すために、ほとんどが壊されますから、このように羽口が操業当時の位置をとどめた状態で出土することは珍しいと言えます。羽口の設置位置や角度など、この製鉄炉は多くの情報を私たちにもたらしてくれます。

古代から続く岩手の鉄文化の謎に迫る貴重な資料です。



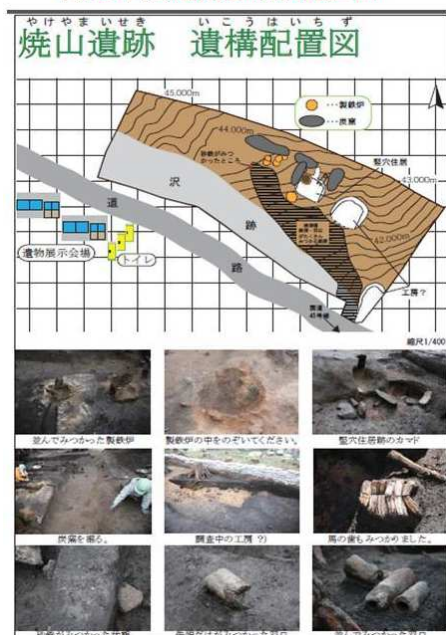
10世紀後半から11世紀の古代東北の製鉄遺跡

南の武井金沢遺跡では鞆座が据え付けられた製鉄炉が立ち並ぶが、ここでは鞆座がない小型の竪型炉が炭焼き窯と隣接する独特の製鉄場。炭粉がいたるところに散らばり真っ黒な床が広がる製鉄場に今まで見た遺跡とは違うと驚きました。

詳細は不明なるも、大和の箱型炉とは異なる東北で育まれた竪型炉の系譜。大和と戦った蝦夷たちの製鉄場がこの三陸沿岸にあったのかもしれない。

また この三陸の古代製鉄技術が後の釜石溶鉱炉操業・また南部鉄のルーツにつながっていったのかもしれないと思いを膨らませるたたら跡でした

2013年発掘調査部の遺構配置図



2013年の発掘調査まとめ 2013.11.2 現説資料より

◎ 焼山遺跡は古代 平安時代、10世紀後半から11世紀頃の鉄生産にかかわる遺跡で、製鉄炉を築き、炭を焼き、砂鉄を原料に製鉄を行っていた。

◎ 出土した遺構
 竪穴住居(古代) 1棟 工房? 2棟
 製鉄炉 7基 炭窯 4棟
 排水場 1ヶ所

◎ 出土した遺物
 鉄滓 多数 40箱 土師器片 1袋
 羽口 多数 3箱 縄文土器片 1袋
 砂鉄 1kg 石器 2点
 釘 1点

◎ トピックス

1. 羽口を装着したままの状態に製鉄炉1基がみつかった。

2. 製鉄炉の下には乾燥のため炭を敷き、焼かれている。
【製鉄炉の大きさの1例】
 直径約50cm 内径約30cmの円形の炉でふいこ座はみつかったといふと聞きました。羽口がラッパ状大型で、一本差し込んだままの状態で見つかった製鉄炉から見て、竪型炉だろうが、ふいこ座が見つからぬことを含め、即断はできぬ。

炭焼窯というと築造された窯を想像しますが、産物の穴が深いことから、ここでは平地に穴を掘って鞆を据え、土を土で完全に覆う焼と呼ばれる簡単な方法だったようだ。

口絵 2. 世界産業遺産登録を目指す近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」 橋野・大橋



遠野から北上山地を東へ釜石線 Ω ループで仙人峠を越えた山中 「陸中大橋」は日本近代製鉄発祥の地



日本で初めて洋式高炉操業≪釜石大橋鉄鉱山≫ そして今も3基の日本最古の洋式高炉が残る橋野鉄鉱山



三番高炉 元治元年(1864)以降ここにあった仮高炉を改修して築造一番・二番高炉が廃棄後も、橋野が明治27年(1894)閉鎖されるまで稼働していた。



仙人峠の西北 橋野 北上山中に残る現存最古の洋式高炉跡

口絵 3. 「鉦」と書いて「たたら」と読む 大山山麓に見つけた「鉦戸・たたらど」集落



369 日目～「鳥取」(10月7日～10月10日)

372 日目 鳥取県大山町

放送日：10月10日

谷口邦子さんのこころの風景

大山町鉦戸（たたらど）の野墓

谷口邦子さんの「こころの風景」は故郷の大山町鉦戸にある野墓の風景です。野墓とは、一人の死者に対して「埋葬する墓」と「お参りする墓」の二つのお墓を作る「両墓制」で、遺体を埋葬する方のお墓。穴を掘るときに出た石をそのままお棺の上に置いただけの素朴な墓で、いつか自然に戻ってゆく、その風景が谷口さんはたまらなく好きだといいます。久しぶりの雨の中、倉吉駅から御来屋駅まで輪行した正平さんは上り坂をものともせず鉦戸をめざします。ようやくたどり着き、川のそばにひっそりたたずむ野墓を発見。そして奇跡のような再会が…。

http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/route_2014autumn/20141010/index.html より



大山町鉦戸（たたらど）の野墓

10月10日朝 NHK BS「日野正平 日本縦断こころ旅」がついていて、耳に「たたら」の言葉が入ってきて、思わず画面に目をやると、鳥取県大山山麓の峠道とあるバス停が映っていて、そこに「鉦戸」と書かれ、「鉦」を「たたら」と読むんだと。これは知らず、そのままTVの画面にくぎ付けで……この伯耆大山山麓は鬼伝説が残る古代からの製鉄地帯 この「鉦戸」もたたらへの郷に違いないと



大山口から南へ大山・溝口へ向かう県道36号線「鉦戸・たたらど」バス停付近 「鉦戸」の案内標識
Google earth ストリート ビューより